

相野谷中だより

紀宝町立相野谷中学校発行
令和2年 12月23日
第 13号

世相を漢字一字で表現する「今年の漢字」が12月14日、「密」に決まりました。「密」以外の漢字も新型コロナウイルスに関するものが多く、今年は新型コロナウイルス感染防止対策に振り回された1年でした。保護者の皆さまには、様々な対策や取組にご協力いただき、ありがとうございました。全国的にもまだまだ感染が拡大しています。来年も引き続きご協力をお願いします。

明日から冬休みが始まります。冬休み期間は生徒が1年間の自分を振り返り、まとめや反省をするとともに、新しい年の目標を立てる大切な期間です。また、家族の方々とのおふれあいを通して、家族の一員としての自覚と責任について考えるよい機会でもあります。

一方、この期間は年末年始の諸行事も多く、気が緩みやすいことから、ともすると生活が不規則になりがちです。1日の生活の計画を立て、安全で有意義な生活を送ってください。

「赤い羽根共同募金」の取り組み

保健福祉委員会の活動の一つとして、「赤い羽根共同募金」活動に取り組んでいます。

文化祭では、保健福祉委員会のメンバーが参観していただいた方に声をかけ、募金協力をお願いしました。たくさんの方にご協力いただきありがとうございました。集まったお金は11月26日に社会福祉協議会にお渡ししました。

社会福祉協議会の方からは、「集まった赤い羽根募金は三重県に送り、その後各市町に振り分けられます。紀宝町では、高齢者サロン・育児サロン・配食などに使っています。」と説明をいただきました。後日、10,882円の金額が集まっていたと社会福祉協議会のほうから連絡がありました。たくさんのご協力ありがとうございました。

また、相野谷中学校で集めているペットボトルキャップもお渡ししました。

1年間で6,700個のペットボトルキャップが集まりました。これは、約8人分のワクチンの費用になるようです。



第2回地域清掃活動を行いました

12月4日(金)に第2回地域清掃活動(相野谷中学校環境デー)を行いました。今回も、3つのグループに分かれ、親水公園方面、小学校方面、深田グランド方面のごみ拾いを行いました。天候もよく、冬にしては暖かい日で生徒たちは活発に活動していました。また、地域の方から「ありがとう」の声をいただき、嬉しそうな表情をしていました。

この活動を通して、地域の一員であることを自覚し、地域を大切にしていける気持ちを高めていってほしいです。



地区中学校新人体育大会(軟式野球)が行われました

12月5日(土)、山崎運動公園くまのスタジアムで軟式野球の新人体育大会が行われました。

相野谷中学校は矢渕中学校との合同チームで大会に出場し、木本・有馬合同チームに5対1で勝利、御浜・阿田和合同チームに1対3で負けましたが、得失点率で優勝が決まりました。田中楓さんは5番センターで出場し、御浜・阿田和戦では最終回、ピンチの中でピッチャーとして登板し、後続を抑える活躍をしました。

この大会で優勝したことにより3月に行われる予定の南勢大会への出場権を得ました。次の大会に向けて練習頑張ってください。



校区人権フォーラムを開催しました

今年も、12月7日(月)に、相野谷小学校、地域の方々と一緒に校区人権フォーラムを行いました。

この活動は、「地域の方々と環境美化の活動に取り組み、地域の自然を愛する心を育み、つながりを深める。」「異年齢集団の活動を通して、他者への思いやりの心を育む。」などを目的に「スイセンの球根植え」や「ウォークラリー」を行っています。

小中合同でのスイセンの球根植えは5年目となり、中学生が土を掘ったところへ、小学生が球根を植えていく連携もできていて、予定していた半分の時間で約600球もの球根を植えることができました。春になって川の土手にきれいなスイセンが咲くのが楽しみです。

後半のウォークラリーでは、小学校1年生から中学3年生までの縦割り班を10チーム作り、各班で協力しながら地域を歩き、クイズに答えたり、ジェスチャーゲームに挑戦したりしながらゴールを目指していました。

生徒は、「小学生を楽しませること」、「安全にゴールすること」などたくさんのことを考えながらの活動でしたが、協力しながら取り組めていました。小学生から「楽しかった」との感想もあり、中学生にとってはリーダーとして成長できた一日でした。



2年生サツマイモを収穫しました

12月11日(金)、2年生の技術科の時間に、6月に植えたサツマイモの収穫を行いました。植え付けの時にも指導していただいた、学校評議委員の寺尾邦義さんに来ていただき、芋ほりを行う際のポイントや注意点などのご指導をいただきました。生徒たちは芋がしっかりと実っているのか不安そうに掘り始めましたが、自分たちが予想していた以上に大小さまざまな形の芋を収穫することができ、育成・栽培のやりがいを感じていました。

生徒の感想（一部を抜粋）

- ・大きい芋がたくさん出てきてよかったです。小さいものもあったけど、結構つながつているもの多くて、少し切ってしまったものもあった。けど、たくさん取れてよかったです。今まで頑張ってきたかきがあった。
- ・水やりもとても大変だった。忘れたときもあったけど、しっかりと育ってくれてとてもよかったです。芋の植え方もわかったので、また、いろいろなものを育ててみたいと思いました。
- ・芋を植えたのは夏くらいだったので暑くて大変だったけど、今は逆に寒くなっていた。あんなにいっぱい作れてよかったです。芋は小学生のときにやっていたから楽しかった。家にもあるけど少なくなってきたから、今回学校で収穫した芋を家で食べたいと思った。芋はいろいろな料理に使うことができるから楽しみ。
- ・毎週の水やりは大変だったけど、こんなにいい芋がとれてやったかきがあったなと思いました。



文化芸術による子供育成総合事業(ワークショップ)を行いました

今年度、相野谷中学校は文化庁の「文化芸術による子供育成総合事業」(能楽講演)の指定を受けています。

12月15日(火)には、本公演の前の事前ワークショップが行われました。相野谷小学校5・6年生も一緒に参加し、宝生流の能楽師4名の方から能楽について詳しく教えていただきました。

はじめに、能と狂言の実演を見せていただき、能楽師の方の声の大きさ・動き・表情や仕草に多くの生徒が驚いていました。

その後、「能楽は『能』と『狂言』を合わせた総称であること。」「『能』は時間の長い作品が多く悲劇がほとんどであるのに対し、『狂言』は喜劇が多いこと。」「能楽の歴史」について学んだ後、子どもたちも、立ち方(カマエ)、すり足で動く歩き方(ハコビ)、悲しいときの仕草などの所作の説明を受けながら実際に体験しました。また、本公演で使用する舞台道具の糸巻き器(ワクワセ輪)を触って、実際に動かすなどの体験も行いました。

最後に、本公演で歌う「千秋楽」の節を教してもらい、全員で練習しました。

このワークショップで、子どもたちは本公演に向け、能楽のイメージができたと思います。



今後の主な予定

※変更になる場合があります。

1月	8日	金	始業式 あいさつ運動
	12日	火	3年生実力テスト 給食開始
	19日	火	文化芸術鑑賞(午後)
	22日	金	英語検定
	23日	土	土曜授業日 学校公開 Day 消費生活出前講座(ネット・モラル)
	25日	月	杉山亮さんによる読み聞かせ(1・2年生)
	27日	水	3年生中間テスト
2月	3日	水	三重県立高等学校入学者前期選抜検査
	5日	金	あいさつ運動
	8日	月	校区内駅伝大会
	12日	金	校区内駅伝大会予備日
	19日	金	実力テスト(全学年)
3月	5日	金	あいさつ運動
	8日	月	卒業式
	10日	水	三重県立高等学校入学者後期選抜検査 1・2年生期末テスト
	11日	木	和歌山県立高等学校入学者選抜検査 1・2年生期末テスト
	18日	木	三重県立高等学校合格発表
	19日	金	和歌山県立高等学校合格発表
	25日	木	修了式



保護者の皆さまへ

○12月1日より、本校のホームページの更新ができなくなっています。現在、原因を調べていますが、まだ解決できない状況です。ご不便をおかけしてはいますが、ご理解ください。

○冒頭にも書きましたが、今年はコロナウイルスの影響で例年とはかなり違った学校生活になりましたが、保護者の皆さまのご協力で無事、令和2年を終えることができました。本当にありがとうございました。よいお年をお迎えください。